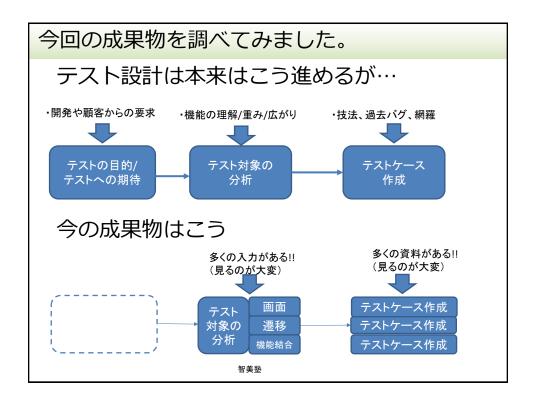
湯本からのコメント







湯本からの指摘のポイント

- 実際のテスト条件(どういう機能の何を テストするのか)がテストケースでしか 判断できない
 - テストケースだと展開されていて増えてしまいぬけ漏れがあるかが調べるのが困難
 - 「目的どおり作れているかも知れない」… しかし説明するのが難しくなっている
- 作ったものをひとつに集約してレビューをしたほうが良い

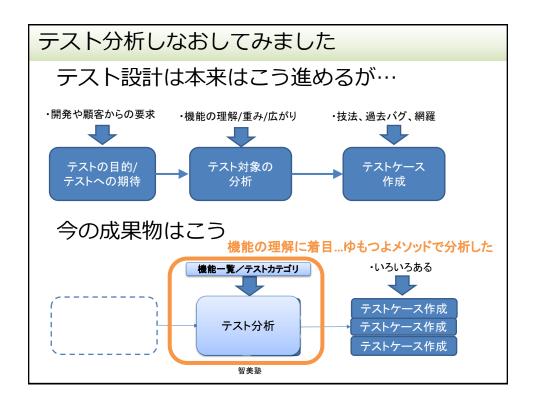
智美塾

これ以上コメントするにはもっと中身をみないと..



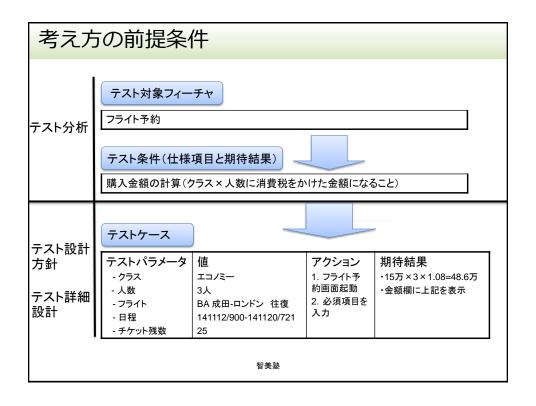


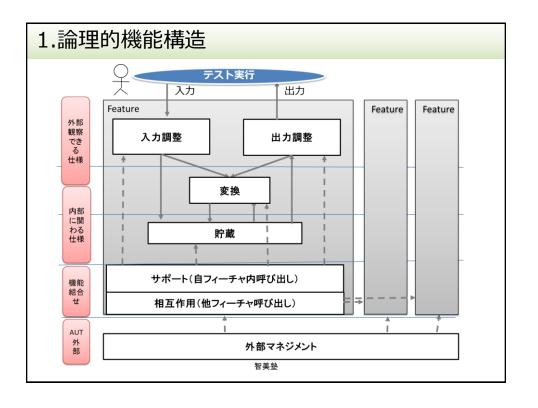
ってことで…

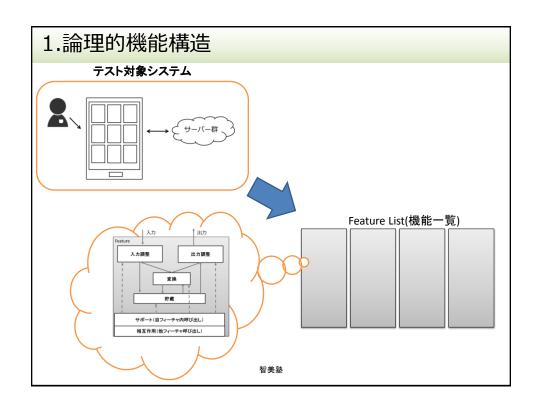


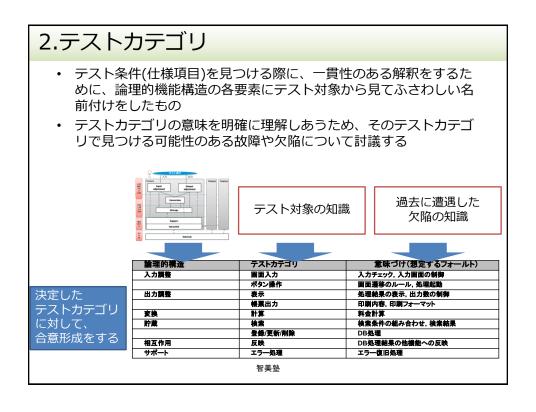
分析の考え方(ゆもつよメソッド)の説明

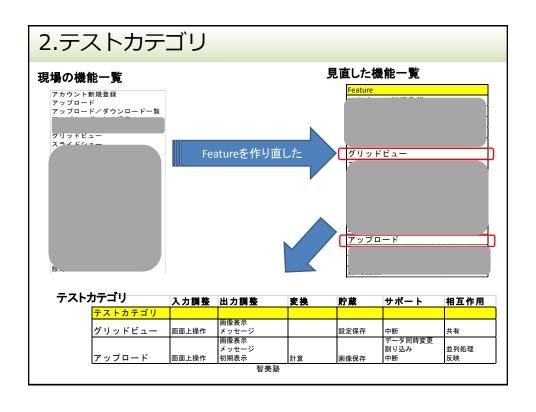
- 3つのポイント
- 1. 論理的機能構造
- 2. テストカテゴリ
- 3. テスト分析結果(テスト条件)特定方法

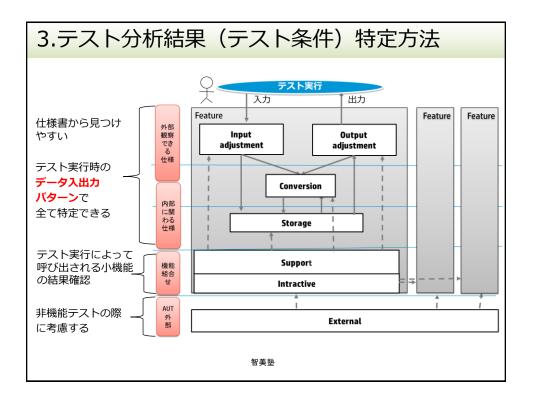


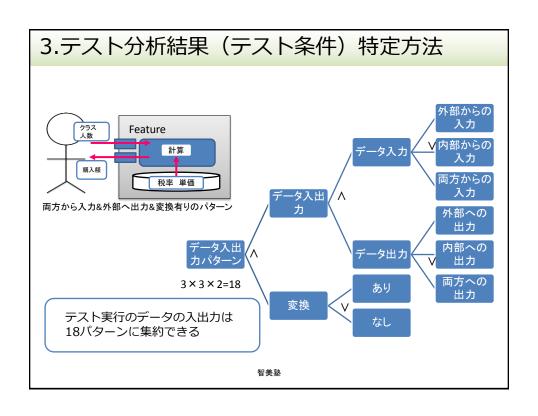


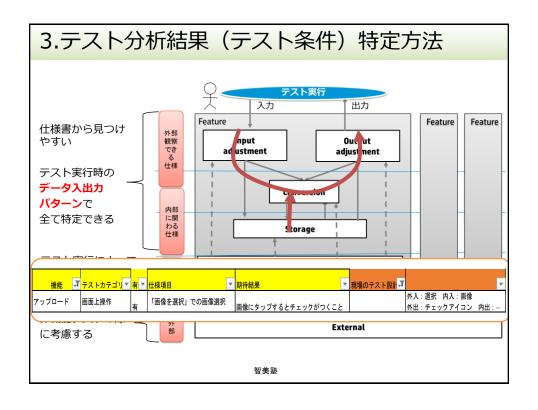












テスト分析結果を紹介

ポイント

- テストカテゴリで分類して見やすくしている
 - もともと決めたルールに**常に立ち返る**ことが大事
- データの入出力と流れをシミュレーションして見つけている
 - 流れるデータの種類(パラメータ)→これに関しては分析するのを後回しにする
 - 流れそのものにどういうものがあるか →こっちを先あげていくのがポイント

後は実物をみながら説明します

智美塾

テスト分析結果を比較

ポイント

- 現場のテストケースをテスト条件にリバース
 - 期待結果を集約した後、詳細を確認して微調整
- 論理的機能構造やデータの流れで比較
 - ゆもつよメソッドで分析したほうが良かった点
 - 現場のテスト分析のほうが良かった点

後は実物を見ながら説明します